

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大垣市	和合地区 （大島町、開発町、津村町、 新開町、和合新町、和合本町）	平成31年3月28日	令和4年1月6日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	113.9 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	87.6 ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	31.7 ha
i うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	8.2 ha
ii うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	11.4 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.0 ha
（備考） 生産調整の対象水田を基にアンケート調査を実施した。	

2 対象地区の課題

和合地区の農業は、水稻主体の土地利用型農業が中心となっており、一部でわさび農家が営農を始めたものの、農事組合法人わごうがその中心となっている。
 農業の現状は大半が（農）わごうが請け負っており、個人農家が管理している農地をリタイヤする場合は、その農地をわごうが預かるという状況であるが、高齢化による農家数の減少、草管理、水管理をどのように行つか、市街化区域内の農地をどのように管理するかが課題となっている。
 また近年農事改良組合長の地域への関わり合いが希薄になってきている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

既存の法人を中心経営体に位置づけ、地域の農地集積・集約化を進める。
 農地中間管理事業等の契約が終期を迎えた農地については、引き続き中心経営体に農地集積を行っていき、経営の安定化を目指す。

中心経営体

属性	農業者 （氏名・名称）	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	A	水稻、小麦、野菜	60.9 ha	水稻、小麦、野菜	65.9 ha	大島町、開発町、津村町、新開町、和合新町、和合本町
認農法	B	酪農、肉用牛繁殖	- ha	酪農、肉用牛繁殖	- ha	大島町
認農	C	肉用牛肥育	- ha	肉用牛肥育	- ha	大島町
認就	D	わさび	0.1 ha	わさび	0.1 ha	開発町
計	4人		61.0 ha		66.0 ha	

「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

○農地の貸付け等の意向

貸付けの意向が確認された農地は、11筆、14,308㎡となっている。
売却予定の意向が確認された農地は、30筆、24,648㎡となっている。

○農地中間管理機構の活用方針

地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
農地中間管理事業等の契約が終期を迎えた農地については、引き続き中心経営体に農地集積を進める。

○基盤整備への取組方針

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地所有者の同意を得た上で畦畔の撤去等を行い、農地の大区画化等の基盤整備に取り組む。

○災害対策への取組方針

風水害、異常気象等の被害対策として、収入保険への加入を勧める。

○水や畦畔の草の管理方針

水や畦畔の草管理については、担い手と地域が話し合い、適正管理に努めていく。

○農事改良組合長の協力量針

地域の農業問題については、積極的に農事改良組合長が関わり合いを持つ。

5 農地の貸付け等の意向

別紙のとおり

本様式で公開する場合は、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得た上で公開いたします。なお、本人の同意が得られない場合には、個人が識別されないようにいたします